

都留市・ヘンダーソンビル市 姉妹都市提携10周年



5月14日～19日 公式訪問団が 来市します

姉妹都市締結の経過

わが国での国際社会で果たすべき役割が高まるにつれて、国際化の波は大きくなつてなり、交流団体や一部企業にひとまらず、市民ひとり一人の日常生活においてあります。都留市では、昭和五十八年五月十八日「両市及び市民相互理解と、友好・親善を基調とし、教育、文化、経済の交流を図り、国際平和の推進に寄与する」を目的として、アメリカ、テネシー州ヘンダーソンビル市と姉妹都市提携を結び、以来、公式訪問団の相互派遣をはじめとする人的交流を通じて友好を深めてきました。

二十一世紀を担う世代の交流も盛んで、桂高校は平成二年、ヘンダーソンビル市のビーチ高校・ヘンダーソンビル高校の両校と姉妹校提携を行いました。また、これまで二回にわたり、"ちびっこ海外使節団"がヘンダーソンビル市を訪れています。

そして今年は、姉妹都市提携十周年の記念すべき年にあたります。これに際して、五月十四日から十九日の六日間、ヘンダーソンビル市から山下アーヴィング市長、ベッティ友好委員会会長をはじめとする、公式訪問団が来市し、五月十九日には姉妹都市提携十周年記念式典に参加する予定です。

昭和五十四年ヘンダーソンビル市の「テネシー文化使節団」という民間のグループが日本の諸都市との交流を深めるために来日しました。

その際都留市内でも演奏会を開催し、ホームステイを通じて市民と交流を深めました。

この時の都留市民の心の温かさと自然の美しさに好感を持ち感動したのでしょうか、翌年にはマーク・ジョン・ウッティ娘が当市を訪れ、市内の中学校で生きた英語指導にあたりました。

さらに昭和五十六年七月には、

再度「文化使節団」が来訪し、日本交歓親善講演会が実現しました。その後様々な交流を積み重ねるうち、ヘンダーソンビル市で都留市との間に姉妹都市の提携を進めようとの気運が高まり、昭和五十七年十一月、ヘンダーソンビル市議会で都留市との姉妹都市関係樹立のための決議が成されました。

そして昭和五十八年五月十八日、高部会長を団長とした訪問団がヘンダーソンビル市を訪れ、姉妹都市提携の調印を行い、海を越えた交流が幕をあけました。



姉妹都市提携調印式（1983年5月）

主な交流のあゆみ

- | | |
|---------|---|
| 1979年7月 | 第1回テネシー文化使節団都留市公演 |
| 1981年7月 | 第2回テネシー文化使節団都留市公演 |
| 1983年5月 | ヘンダーソンビル市にて姉妹都市提携の調印 |
| 1986年7月 | 公式訪問団がヘンダーソンビル市を訪問 |
| 1987年8月 | "ちびっこ使節団"がヘンダーソンビル市を訪問 |
| 1988年4月 | 公式訪問団が都留市を訪問 |
| 1990年4月 | 公式訪問団がヘンダーソンビル市を訪問
ヘンダーソンビル高校・ビーチ高校と桂高校の姉妹都市提携 |
| 1991年3月 | 桂高校国際姉妹校派遣団がヘンダーソンビル市を訪問 |
| 1992年3月 | "ちびっこ使節団"がヘンダーソンビル市を訪問 |
| 1992年7月 | ヘンダーソンビル高校・ビーチ高校生徒一行が都留市を訪問 |
| 1993年5月 | 姉妹都市提携10周年を記念してヘンダーソンビル市より公式訪問団が都留市を訪問（予定） |